

会議録

会議の名称	第3回 西東京市誕生10周年記念事業推進委員会
開催日時	平成22年10月8日（金曜日）13時30分から14時30分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：齋藤座長、大河内副座長、石田委員、小西委員、住田委員、尾藤委員、大島委員、坂口委員、松井委員 （欠席：柏木委員） 事務局：池田企画部長、柴原企画政策課長、藤澤企画政策課主査、掛谷企画政策課主任、山田企画政策課主任
報告事項	1 前回会議録について 2 キャラクター投票、キャッチフレーズおよび一言メッセージ募集に関する広報状況 3 その他
議題等	1 キャラクターおよびキャッチフレーズの選考について 2 その他
会議資料の名称	資料1 キャラクター投票、キャッチフレーズ募集および一言メッセージ募集事業実施状況 資料2 キャラクターの名前応募作品一覧 資料3 キャッチフレーズ応募作品一覧 参考資料1 各種チラシ 参考資料2 推進本部作業部会活動状況
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>報告事項について</p> <p>○座長： 報告事項について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>○事務局： （報告事項について報告）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回推進委員会会議録の公開状況について 2. キャラクター投票、キャッチフレーズおよび一言メッセージ募集に関する広報状況 3. その他「協賛事業」「市民活動団体提案協働事業」「朝食メニューコンクール」の応募状況 	

議題1 キャラクターおよびキャッチフレーズの選考について

○座長：

議題1について、事務局より説明をお願いします。

(キャラクターの選考について)

○事務局：

(資料1に基づき説明)

投票結果等を踏まえてキャラクターの選考をしていただきたい。

○座長：

キャラクター選考について、何かご意見はありますか。

○松井委員：

投票結果に基づいて、「いこいの森の妖精」が良いのではないのでしょうか。

○小西委員：

「いこいの森の妖精」には、それぞれの年齢層から万遍無く票が入っており、偏りなく全体を反映しているキャラクターである。得票数およびそれぞれの年齢層から支持されているということで、「いこいの森の妖精」が良いのではないのでしょうか。

○座長：

この会におけるキャラクター選考については、「いこいの森の妖精」でよろしいでしょうか。

○委員：

異議なし。

(キャラクターの名前について)

○事務局：

(資料2に基づき説明)

この場でみなさまに自由な意見を言っていただき、ある一定の共通認識をもってキャラクターの名前の選考をしていただきたい。

○小西委員：

今後、商標登録する分野はどのような分野を考えているのでしょうか。

○事務局：

商標登録については、今後専門の業者に依頼をしていきます。今回は商標登録に関係なく自由に候補を選んでいただきたい。

○大島委員：

小学生、中学生の応募が多かったので、子どもが読み易い名前や、言い易い名前が良

いのではないか。

○大河内委員：

名前が「ん」で終わるものがヒットするとアニメーターに聞いたことがあります。

○大島委員：

例えば、137番に「リラ」とあるが、商標登録する時に「リラちゃん」としてもかまわないのですか。

○事務局：

基本的には応募の名前のままで考えていただきたい。

○大河内委員：

事務局から説明があったように、選ばれた名前については式典で表彰があるので、応募の名前のままが良いと思います。

○坂口委員：

「いこいの森の妖精」というイメージで設定されているので、「いこいの森」関係の名前が多く、前面に出てきているが、むしろ市の名前関係を使っているものなどを考慮する必要はあるのでしょうか。

○事務局：

西東京市のキャラクターとしての特徴がある方が良いと考えています。「西東京市」、「いこいの森」関係のどちらでも、ある程度西東京市をイメージできるものと思っています。

○坂口委員：

子ども達の応募が多く、かわいいものや、やさしい感じの名前が多いので、そのような名前が良いと思います。

(キャッチフレーズについて)

○事務局：

(資料3に基づき説明)

この場でみなさまに自由な意見を言っていただき、ある一定の共通認識をもってキャッチフレーズの選考をしていただきたい。

○坂口委員：

このキャッチフレーズは来年だけ使うのか、それとも再来年以降も使うのかによって、「10周年」を使ったほうが良いかがかわるのではないのでしょうか。

○事務局：

「10周年」を入れるかについては、皆さんに判断していただきたい。

キャッチフレーズの使用は10周年記念事業のみで、キャラクターについては来年以降

も使い続けます。

○尾藤委員：

キャッチフレーズはどのような場面で使うことを考えているのでしょうか。

○事務局：

のぼり旗や冊子、チラシ等広報面で使用を考えています。

○尾藤委員：

例えば「食育の事業」などを行なう場合に、「みどり」のような具体的なキャッチフレーズが入っていると、事業との一貫性がなくなり、10周年記念のキャッチフレーズと相応しくないのではないのでしょうか。

○大島委員：

「みどり」関係の応募作品が多いが、西東京市はそれほど「緑」は多くありません。これは市民の願いが表現されてものであると思います。

○住田委員：

応募の多さに驚いている。これほど集まっているとは思っていなかったので、感心しています。

○石田委員：

個人的には、10周年記念なので「10周年」が入っているほうが良いと思っています。

○事務局：

(投票方法について説明)

議題3 その他

○齋藤座長：

その他として、事務局から何かありますか。

○事務局：

(次回開催日程等の報告)

(閉会)